

日本地域学会第 58 回(2021)年次大会(高知)のお知らせ

2021.3.27

新型コロナウイルス感染症への対応で社会が大きく変革される中、第 58 回(2021 年)年次大会もオンラインでのリアルタイム発表に加えて、現地会場での発表を融合したハイブリッドスタイルによる新しい大会運営に挑戦します。日本や世界の各地からネットを通じて参加頂く方にも、現地会場で発表頂ける方にも、より柔軟で闊達な議論の場を提供できればと考えております。ぜひ奮ってご参加ください。

大会概要

日時：2021 年 10 月 9 日 (土) -10 日 (日)

会場：高知市文化プラザかるぽーと(高知市九反田 2-1)

(大講義室、第 1 学習室、第 3 学習室、特別学習室、音楽室、小ホール)

<http://bunkaplaza.or.jp/>

大会プログラム：(2021.7 月上旬に公開予定)

発表論文集：(2021.9 月下旬に公開予定)

大会事務局：

〒780-8520 高知県高知市曙町 2-5-1 高知大学 地域協働学部 大槻研究室

E-mail: jsrsai2021@gmail.com

大会 web: 作成中

大会への参加

新型コロナウイルス感染症対応の特別措置として現地会場参加は定員制とします。
会員の安全を守るための措置に、ご理解ご協力をお願い致します。

表：参加パターン別の定員

	発表参加	聴講参加
オンライン会場	84 名 (状況に応じて定員増の可能性あり)	定員なし
現地会場	36 名* (Early bird12 名、一般セッション 24 名) *新型コロナウイルス感染防止のため、 発表 1 枠につき発表者 1 名とします。 (発表者以外については聴講参加の枠で申し込み下さい。)	64 名

- 「現地会場での発表参加」及び「現地会場での聴講参加」の登録は先着順となります。
- 新型コロナ感染症の状況によっては現地会場参加での申込者もオンライン参加となる場合があります。

※特別セッションはオンラインのみでの実施となります。

<参加費（オンライン会場、現地会場とも）>

- 一般会員（5,000円）
- 学生会員（3,000円）
- 非会員（10,000円） ※含む学会登録費（5,000円）

※参加費は銀行振込またはクレジットカード決済での事前納入のみとなります。

※納入に関わる手数料は別途ご負担をお願いします。

<発表申込期間>

- 2021年3月下旬～4月26日（月）

※申込時にオンライン発表、現地会場発表を選択ください。

※申込時に発表参加者1名の登録をお願い致します。

※発表参加者の参加費納入については2021年6月上旬以降にご連絡致します。

<論文提出締切>

- 2021年8月20日（金）

<聴講参加者の参加登録期間>

- 2021年6月上旬～2021年7月15日（木）

※申込時にオンラインでの聴講参加、現地会場での聴講参加を選択ください。

※参加費納入については申込後にお伝えします。

大会スケジュール（2021年3月25日現在）

<2021年10月9日（土）>

10:00-10:30	開会式（オンラインで同時配信）
10:30-12:00	総会（オンラインで同時配信）
13:00-15:00	現地会場セッションA（3セッション12名） オンラインセッションA（7セッション28名）
15:15-17:15	現地会場セッションB（3セッション12名） オンラインセッションB（7セッション28名）

<2021年10月10日（日）>

10:00-12:00	現地会場セッションC（3セッション12名） オンラインセッションC（7セッション28名）
14:30-16:30	公開シンポジウム「大規模災害に備える地域づくり」 （オンラインで同時配信）
17:00-17:30	閉会式（オンラインで同時配信）

公開シンポジウム

- テーマ：「大規模災害に備える地域づくり」
- 主催：高知大学防災推進センター/日本地域学会
- 日時：2021年10月10日（日）14:30-16:30
- 場所：高知市文化プラザかるぼーと 小ホール（オンラインで同時配信）

- 趣旨：

令和時代の日本は「いつか」必ず来る南海トラフ巨大地震・首都直下地震、そして「いつも」やって来る気象災害の両者への対応が必要である。他方、都市、農漁村部ともに高齢化が更に進む中で、ハード・ソフトの両面から大規模災害に備える地域づくりの新しい仕組みが求められている。

本シンポジウムでは基調講演者として都市防災研究の第一人者として活躍された後、自主防災会長として地域防災の推進に奮闘されている梶秀樹氏（筑波大学 名誉教授）を迎え、学術知と住民の経験知を繋ぎ合わせて地区特性に合わせて地域防災を行うポイントを紹介いただく。その上で、松本敏郎氏（高知県黒潮町 町長）より同町における南海トラフ地震対策の地域づくりの先進事例について、笹原克夫氏（高知大学防災推進センター センター長）より高知県の土砂災害及び防災まちづくりにおける大学の役割について話を頂きながら、令和時代における「大規模災害に備える地域づくり」のあり方について議論を行う。

- 内容：

基調講演： 梶秀樹氏（筑波大学 名誉教授）

パネルディスカッション（順不同）：

進行：

大槻 知史氏（高知大学防災推進センター）

パネリスト：

笹原 克夫氏（高知大学防災推進センター センター長）

梶 秀樹氏（筑波大学 名誉教授）

松本 敏郎氏（高知県黒潮町 町長）

交通アクセス



高知龍馬空港より

○空港連絡バスで30分 はりまや橋観光バスターミナル下車 徒歩1分

高知駅より

○電車でとさでん交通 はりまや橋下車 徒歩5分 / 菜園場町下車 徒歩3分

○バスで とさでん交通 はりまや橋下車 徒歩5分

○車で 5分

宿泊について

現地参加者の方は個人での予約をお願いします。

(旅行代理店の案内も予定していますので、必要に応じてご利用ください。)

大会実行委員(Local Organizing Committee)

委員長	大槻知史(高知大学)
副委員長	藤岡正樹(高知大学)
委員	正岡利朗(高松大学)
委員	中澤純治(高知大学)
委員	松本明(高知大学)
委員	近藤明子(四国大学)
委員	島根哲哉(香川大学)

<サイバー組織委員会(Digital Twining Committee)> (五十音順)

委員長	石橋健一	(愛知学院大学)
	大西学	(名古屋外国語大学)
	鐘ヶ江秀彦	(立命館大学)
	酒井宏平	(立命館大学)
	城月雅大	(名古屋外国語大学)
	留野僚也	(立命館大学)
副委員長	豊田祐輔	(立命館大学)
	藤岡正樹	(高知大学)